

# 赤浜橋

上市川流域で「流れる水のはたらき」の観察をする場合、観察に適した川原となると、限られてきます。上市町の市街地より上流は、堤防によって仕切られ川幅がせまく、自然の蛇行や川原が生じにくいようです。また、下流部では、ダムができたことによる急な増水が少なくなったため、泥が堆積しやすく、そこに雑草が生い茂りやすく、川へは入りにくい環境になっています。その中で、必要な観察に耐える場所としては、この赤浜橋付近が最も適しているようです。川原は決して大きくありませんが、川の屈曲や土砂の堆積のちがいがわかりやすく、雑草も他の箇所ほどひどくないようです。また、この川原の特徴として、れきのほとんどが典型的な花こう岩の礫からなることです。これだけはっきりした花こう岩が多い河川は、県内ではほかに例がありません。また、その他に少しころがっている黒い礫も安山岩であり、中学校で学習する範囲内のわかりやすい礫が観察できるポイントとしてもこの川原の価値があります。

この川原への入口は左岸上流側にありますが、チェーンが張ってあります。これは、ゴミの不法投棄禁止と、車での乗り入れに伴う危険防止（地盤がやややわらかいことなどから、脱出できなくなる恐れがあるのか？）のためであり、徒歩での立ち入りまでは禁止していない（立山土木事務所）とのことです。ただし、ここは、上市川と郷川、平塚川の合流点になっています。郷川、平塚川とも小さな川ですが、天候の急変による鉄砲水には注意しないとけません。上市川のダム放水による増水への注意もふくめて、必要以上に活動範囲を広げず、増水の危険があるときにはすみやかに堤防に避難できるように気をつけて観察しましょう。

観察対象	河川中流部
観察できる人数制限	1学級単位が望ましい
流速の実験の安全性	天候が安定していれば比較的安全にできる
バス駐車スペース	近くに埋樋神社があり、その神社前に十分なスペースがある。
トイレ	近くにない。



河川敷への入口



左岸側の川と川原の様子



礫はほとんどが花こう岩

